

こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2020年11月29日 NO.1077

きらとみひこ

吉良富彦 です

新屋敷事務所 823-5878
 事務所 藪野事務所 846-2046
 県議会控室 823-9524

任期途中で帰省！ 総務省からの部長

国からの部長3名
課長等では17名

●24日、県は、予算編成や政策など県の中核業務を担う総務部長を任期途中

11月末で国に返すと発表。現在、君塚総務部長含め部長3名、課長級6名など含め16名が国、中央からの着任。今回、君塚氏が出身官庁である総務省に呼び戻される事を受け13部長の2部長、1副部長が年度途中で突き動かし、異例の人事交代劇！「天下り部長」の弊害だとの県民の声も。

地方は国の意向を計るパイプを太くするという理由で、国は自らの政策を地方自治体に伝える等として県などの要職に幹部を配置する事が常態となっている。

●10月から11月にかけて行われた決算委員会で、私、吉良は、内閣人事局にもふれ、国からの派遣職員数を提出させ、(下表：12日現在の国からの職員数)、人事の透明化と第三者による妥当性の評

部長級3、副部長級1、課長級6、課長補佐級1、チーフ級2、担当4
 (内訳：総務省6、厚生労働省、農林水産省、林野庁、水産庁、国土交通省7)

価をすべしと君塚総務部長に求めた直後に、今回の「中央優先」とも言えるこの人事異動です！
 国とのパイプというが、地方と住民の声が国に押し流される一方通行のパイプは不要です。

すべての原発 廃炉に



商店街を行進してアピールする参加者＝22日、高知市

高知県民連絡会など行進・集会

「まもろう平和なくそう原発アクト6」(原発をなくす高知県民連絡会など3団体の主催)が22日、高知市内で取り組まれ、連帯と支え合いの社会の実現などを訴えました。参加者は、3コースに分かれて市内中心部を行進してアピールし、中央公園で集会を開きました。同連絡会の丸井美恵子共同代表が「明日への希望を持ってあきらめずに歩き続けたい」と主催者あいさつしました。中央舞台でダンスパフォーマンスや歌などが熱演され、安全で平和な社会へ出演者と会場が一体になりました。

参加した横田しのさん(55)は「原発は、放射性廃棄物などの問題があり、ただちにすべて廃炉にすべきだ。子どもたちに少しでもよい日本を手渡したいと思って頑張っています」と話し、小松茂弘さん(68)は「原発には反対。一部の大企業のもうけのためのものだ」と批判しました。西内初代さん(72)は「自然エネルギーを増やしていけばよい」と語りました。

●二人目の孫が誕生

二人目の孫を授かりました。皆様にご支援頂いております私の娘で参議院議員の吉良よし子(東京都選出)であります。コロナ感染拡大で、立ち合いも面会も禁止のなか、母子とも無事に男の子を出産いたしました。ご心配頂いてありがとうございました。感謝の気持ちを込めてご報告と御礼を申し上げます。ありがとうございます。時はコロナ禍、いこニューフェイス対面へと馳せ参じようかと、思案中の「富じい」です。さていかがしたものか。



キラリンにゃんでも通信